

平成30年度 第1回豊山町地域包括支援センター運営協議会議事録

1 開催日時 平成31年3月6日（水）午後2時45分～午後3時45分

2 開催場所 豊山町保健センター 2階 研修室

3 出席者

(1) 委員 5名

愛知県立大学	岡本 和士
愛知県清須保健所	神谷 ともみ
豊山町民生委員	中西 正司
あいち介護予防リーダー	堀場 光代
一般公募	大野 純子

(2) 事務局 3名

豊山町生活福祉部保険課長	横田 仁美
豊山町地域包括支援センター社会福祉士主任	千葉 幸恵
豊山町地域包括支援センター保健師	大関 沙依

4 議題

- (1) 平成30年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況
- (2) 平成31年度豊山町地域包括支援センター事業計画（案）について
- (3) 介護予防プラン委託先について

5 議事内容（要点筆記）

【司会】

ただ今より平成30年度第1回豊山町地域包括支援センター運営協議会を開催させていただきます。

私は、事務局を担当しております地域包括支援センター保健師の大関です。本日は司会進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。ここで、事務局の紹介をさせていただきます。

【事務局】

（ 自己紹介 ）

【司会】

本日の議事録につきましては、発言時の個人名を伏せ、「要点筆記」にてホームページに掲載させていただきます。

議題に入ります前に、本日の配布資料の確認をさせていただきます。事前にお配りしました資料は、「資料1 平成30年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について」、「資料2 介護支援ボランティアを募集しています」、「資料3 名古屋大

学健康長寿シリーズ番組表」、「資料4 平成31年度豊山町地域包括支援センター事業計画（案）について」、「資料5 介護予防プラン委託先について」です。本日配布しました資料は、「平成30年度第1回豊山町地域包括支援センター運営協議会 次第」、「豊山町地域包括支援センター運営協議会 委員名簿」です。資料に不足等がございましたら、お申し出ください。

それでは会議次第に沿って始めさせていただきます。まず岡本会長よりご挨拶をいただきたいと思っております。会長よろしくお願いたします。

【会長】

皆様、本日は年度末のお忙しい中ご出席賜りましてありがとうございます。ぜひ皆様から様々なご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【司会】

ありがとうございます。それでは、これからの議事進行につきましては岡本会長にお願いいたします。

【会長】

ただ今から、議事の進行をさせていただきます。

議事録の署名委員ですが、「中西委員」と「堀場委員」を指名します。議事録の署名については、事務局が本日の議事録を作成後、署名のお願いに伺いますので、よろしくお願いたします。

それでは、次第3の議題に入ります。議題（1）「平成30年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

議題（1）「平成30年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況」について、資料1～3に基づき説明した。

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明について委員の皆様よりご質問や意見をお願いします。

【委員】

報告を聞き、少ない人数で多くの事業を担っているという印象を受けました。業務が過重にならないように気を付けることが大切だと思います。

【会長】

確かに、多くの事業がありますから、調整しながら行う必要があると思われれます。

【委員】

報告の中にありました健康落語講演会とは、昨年度の協議会でお話していた講演会のことでしょうか。

【事務局】

はい。講師は、医師の資格を持ちながら落語家としても活躍している方です。健康についての講座と落語を行いました。

【委員】

資料1の2ページに、講演会の開催回数が8回と記載されていますが、内容は何で

しょうか。

【事務局】

社会福祉協議会主催の「ふれあい食事会」における健康教育や、老人クラブを対象とした健康体操、「豊寿大学」での地域包括支援センターの担当部分などの回数の集計です。

【委員】

健康落語講演会については、広報などでPRされていたのを見ました。「豊寿大学」は役場が発行している情報誌などに載っていると思います。それ以外の「ふれあい食事会」と老人クラブの健康体操については、PRされていないのですか。

【事務局】

「ふれあい食事会」は独居高齢者、健康体操は地区の老人クラブ会員というように、対象者が限られています。そのため、あえて大々的に周知するという形はとっていません。

【委員】

周知方法については、現状のままで特に不都合など生じていませんか。

【事務局】

はい。健康体操については、老人クラブ役員会などにおいてチラシを配布してPRしていますので、全地区に周知ができています。

【委員】

「キラリ65歳教室」は、どのように宣伝されているのですか。

【事務局】

今年度65歳になる方に対しては、郵送による個別通知を行いました。また、全高齢者に向けて、3月号広報にも掲載しています。

【委員】

広報に載っていることに気がつきませんでした。

【事務局】

「キラリ65歳教室」は毎年テーマを決めて開催しており、今年度は「^い生き^い生きライフ応援会」というタイトルで掲載しています。タイトルが違うため気づきにくかったかもしれません。

【委員】

今後、タイトルは統一されるのでしょうか。

【事務局】

どのようにするか考えていきたいと思います。

【委員】

認知症サポーター養成講座については、広報に掲載されていた案内を読みました。10名程度以上のグループからの申込みに応じて開催するとのことですが、受講希望者が自らそれだけの人数を集めるのは大変ではないかと思えます。住民の自主性を育てるという観点からは、それが望ましい開催方法なのかもしれません。個人でなら受

講してみたいと考える方は、きっといると思います。

【事務局】

確かに、グループだと難しいと感じる方もいらっしゃるかもしれません。来年度は日程をこちらで設定して受講者を募集していきたいと考えています。

【委員】

今年度は「家族や周囲ができる認知症のチェック講座」を開催していたと思いますが、それはどの事業に含まれるのですか。

【事務局】

在宅医療・介護連携推進事業の中で、住民向け在宅医療推進講演会として開催させていただきました。

【委員】

なるべく早く認知症を見つけ出して進行を防ぐことが大切だと考えています。女性は、比較のお喋りや買い物等で外出する方が多い印象ですが、男性の場合は違うように感じています。

【会長】

退職があるということ踏まえると、男性の方が認知症になりやすい可能性があります。退職後は仕事の付き合いが減り、社会との接点を失いやすいです。そのため、退職前から退職後の生活を考えることが大切です。

1つ注意していただきたいのですが、物忘れがあるからと言って認知症であるとは限りません。認知症でなくても、性格的にせっちな方などは次から次へといろいろなことを考えるので、前に考えていたことを忘れやすい傾向にあります。例えば、お茶を沸かすために火を点けたとしたら、沸くのが待ち切れずに次の活動を始め、そのまま火が点いていることを忘れてしまう場合があります。そして、その場面を見た周りの人は、その人のことを認知症だと誤解することがあります。認知症であると決めつけられることは、本人にとって負担になります。

近年では至るところで認知症についての関心度が高まっています。早期に発見し早期に対応するために、認知症についての啓発が必要であることは事実です。しかし、物忘れがすべて認知症ではないということについての啓発も、同時に行っていく必要があると考えています。

【委員】

「オレンジカフェしいの木」では、参加者全員が女性です。男性も参加できるような取組みが実現できれば良いと思いました。

【委員】

検討段階ですが、民生委員の方に「オレンジカフェしいの木」に参加してもらえないかと考えています。受け持ち地区の方々とどのように関わったら良いのかという勉強になると思います。

【委員】

民生委員の方が参加するのであれば、地区内の男性を1人誘い、一緒に参加していただけたらどうでしょうか。

【委員】

それは難しいように思います。

【委員】

「オレンジカフェしいの木」は、グループでいらっしゃった方は同じテーブルで盛り上がることはできますが、個人だと寂しいのではないかと心配です。

【会長】

1つの案ですが、くじ引きで席を決めていただくという方法をとっても良いかもしれませんが、そうすれば、全員がより多くの人と関わることができます。

【委員】

今年度開始した名古屋大学健康長寿プログラムについて、実績などを知れる機会があると良いと思いました。

【委員】

とよやまチャンネルは、町内の全家庭で観ることができるのですか。

【事務局】

テレビを持っていないなど、何らかの事情により家庭で観ることができない方については、役場のロビーで観ることができるということをご案内しております。

【委員】

名古屋大学健康長寿シリーズのレシピを町内のスーパーで見かけましたが、他のお店にも置いてあるのでしょうか。

【事務局】

町内の複数のお店に対して、食材の近くにレシピを置いていただくようお願いしております。ただし実際に置く場所についてはお店の判断になっておりますので、現在の状況を確認させていただく必要があると考えています。

【委員】

お店だけでなく、公共施設にも置いていただけないでしょうか。

【事務局】

今後、公共施設にも置くようにしていきたいと思います。

【会長】

様々な建設的なご意見やご指摘をありがとうございました。

それでは、次の議題に移ります。

【事務局】

議題（２）「平成31年度豊山町地域包括支援センター事業計画（案）について」について、資料4に基づき説明した。

【会長】

説明が終わりました。ただ今の説明についてご質問やご意見のある方はいらっしゃいますか。

【委員】

権利擁護検討委員会について質問があります。社会福祉協議会も似たような事業を行っていると思いますが、どのように連携をとっていくのでしょうか。

【事務局】

社会福祉協議会では、日常生活自立支援事業を実施しています。日常生活自立支援事業は、契約能力はあるが金銭管理に不安がある方に対する事業です。一方で、成年後見制度は、契約能力がない方に対する事業です。今後、必要な方がスムーズに成年後見制度を利用できるよう、社会福祉協議会とも連携をとっていきたいと考えています。

【委員】

成年後見センターの設置については、専門性の高い内容だと思われそうですが、地域包括支援センターで担う予定ですか。

【事務局】

豊山町のみで成年後見センターを設置することは、現段階では難しいと考えております。既存の成年後見センターに加わるか、複数の自治体と協働して新たに設置するかなど、様々な方法を検討しています。豊山町にとって最も良い形にしていきたいと考えています。

【会長】

成年後見センターは、専門性が高く責任も大きな存在ですので、外部と連携した方が良いと考えます。

【委員】

「おかえりネット」の件数を教えてください。

【事務局】

検索時と発見時にそれぞれメールを配信しています。両方合わせて、10通程度のメールを配信しました。

【会長】

続きまして、次の議題に移ります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

議題(3)「介護予防プラン委託先について」について、資料5に基づき説明した。

【会長】

ただ今の説明につきまして、ご質問やご意見のある方はいらっしゃいますか。

無いようですので、以上で本日の議題はすべて終了しました。

次第4「その他」につきまして、事務局の方から連絡などをお願いします。

【事務局】

平成31年度豊山町地域包括支援センター運営協議会についてですが、3月頃に開催を予定しております。よろしく願いいたします。

【会長】

これをもちまして、平成30年度第1回豊山町地域包括支援センター運営協議会を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

上記のとおり、平成31年3月6日（水）開催の地域包括支援センター運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席委員2人が署名する。

平成31年3月 日

会 長 岡本 和士

署名委員 中西 正司

署名委員 堀場 光代